

園づくり・人づくりを考えるIT専門紙 パステルIT新聞

購読申込(無料)・掲載依頼のお問い合わせは「パステルIT新聞事務局」まで

〒425-0074 静岡県焼津市柳新屋436-1 ☎ 054-626-8888 ☎ 054-626-3371

発送先数: 11,945 施設 (幼稚園 37% 保育園 40% 認定こども園 21% その他 2%)

創刊: 2008年6月20日 発行: 株式会社サンロフト

Webサイトは右記QRコードより

保育博のみどころ 号外

- 1 - これからの保育を「見る・聞く・学ぶ」
保育博 2022 開催
- 2 - 運動を通じて育む「生きる力」
幼児体育指導 さわだスポーツクラブ
- 3 - うたと工作えほんであそぼ
「カリヨンメソッドONLINE」
- 4 - UV(紫外線)とオゾンでダブル除菌
組み立て・お手入れも簡単「除菌 BOX JOYKING」

これからの保育を 「見る・聞く・学ぶ」 保育博2022開催

保育業界に特化したビジネス&サービスマーケット「保育博」が2022年11月21日・22日に開催。今年は、2日間で149社のブースが並び、展示会と18本のセミナー、4社による出展者プレゼンテーションで構成されています。注目の主催者特別セミナーは、汐見稔幸先生による「保育とESD、SDGsの時代に掉(さお)さす保育をめざす」(21日)でスタート。また、前回大阪開催で来場者満足度が高かったセミナーの続編「若手経営者が考えるこれからの保育 今現場で輝く若手経

営者 (Seed) 発掘&業界人を育てるバックアップセミナー」(21日)では、(福) Cha Cha Critten & Co. の迫田健太郎理事長、(株)サムライウーマンの高原友美代表と(福)種の会の片山雄基理事長が登場し、「理想の保育園」づくりについて語られます。このほかに、人材育成、業務効率化、少子化問題、地域ぐるみの子育て、教育と福祉の融合など、多様性が進む社会における考え方や大切な視点について学べるタイトルが目白押しです。



エデュケーションショナルセミナーでは、園児募集、食とアレルギー、発達障がい、急病時対応、リスクマネジメント、幼保小連携といった、保育者が子どもたちと向き合う中で日々直面する議題について、多彩な専門家が講演します。また、ブースと出展者プレゼンテーションでは、教育・保育活動をサポートする、最新の製品・サービスが並びます。教材や遊具のほか乳幼児用品、給食、家具、什器、業務効率化、防災、防犯・見守り、人材派遣など、幅広い分野の最新情報が一堂に会する機会です。保育・教育現場における課題解決のヒントや、明日の園運営に役立つ知識や情報を探しに行きましょう。

booth E-M015

幼児体育指導のさわだスポーツクラブ ふれあうって楽しい! 運動を通じて育む「生きる力」



さ

わだスポーツクラブは、1都3県を中心に、正課での幼児体育指導や降園後の運動教室、親子体操教室を展開している運動のプロフェッショナルです。

創業は1975年。社会体育の重要性が問われ始めていた当時、創業者の澤田幸男氏は東京五輪の体操選手である小野喬・清子夫妻に師事。幼児期の運動あそびを通して子どもの心や身体の教育に寄り添うと、東京都練馬区の幼稚園に体操の指導員を派遣したことがはじまりでした。あれから47年、今では体操やサッカー、ダンス、チアなど様々なスポーツプログラムを提供しています。

さわだスポーツクラブが運動を通じて提供するのは、「跳び箱が跳べる」「逆上がりができる」といった経験値によって培われるものとは異なります。どのプログラムにも共通するのは、「生きる力を



脚を持ち上げて10秒キープ! 園での体操教室の様子
提供: さくらさくみらい(保育園)

育む」という想い。自分の体を支える。他者を思いやる・くじけないなど、子どもたちの身体的・精神的・知的・情緒的・社会的な成長を、運動を通してバランスよく伸ばすことを大切にしています。

日頃から講師として園を訪問するといふ澤田康徳社長は、「大事にしたいのはコミュニケーション能力。ふれあうことで人の力を感じて、自分や相手の力の強さを理解する。そこから育まれる関係性をまずは親子で感じられる場を提供したい」と語ります。同クラブでは、1〜3歳はバランス感覚や筋力を身につけるための繰り返し運動、4歳からは子ども同士の運動あそびに発展。他者との関わりあいから身体だけでなく心を動かすこと、様々な動きで脳を刺激し神経系の発育を促すこと、野山を駆け回るように繰り返し身体を動かすことで、子どもの運動能力を引き上げます(同クラブ独自の体育指導法「Action Brain Circuit Program」)。

コロナ禍には、自宅で運動あそびが楽しめる「さわだ動画配信サービス」の提供を開始。テープの上を裸足で歩いたりジャンプしたりなど、身近にあるものを使った運動あそびは実に楽しい。「子どもの未来づくり」という想いから凝らされた工夫の数々、まずはご体感ください。

1都3県でのプログラムの他、職員研修や親子体操教室を全国の園で実施。詳細はWebサイトから。
【問合せ】fine0121ys@gmail.com(桑田)

